

婦人と子ども

大正五年六月五日
第十六卷第六號

學齡前教育上の注意

文學士 三輪田元道

教育といふことは大概學校に入學して後に施されるものと思つて居るものが多いやうであるけれども、私は學齡以前に主なる教育の基礎が出来ることと思ひます。

東洋では古から胎教といふことを重要視してをりました。今日から云ひますれば寧ろ遺傳學から説明した方が便利であります。

さて教育上の大切な問題は第一が父母から來る遺傳で、第二は入學前に於ける境遇、第三が入學後の努力であらうと思はれるが、今日の御話は第一二の問題のみに限りませう。

○復讐心を養ふ誤れる教育

俚に『三つ子の魂百まで』とか『雀の躍百まで』とかいひますが、之には中々の眞理が含まれて居ります。先づ學齡前につきました兒童の習慣は將來まで重大な關係を持つものであります。即ち腦髓の組織は一旦眼で視たものは悉く映るものであります。特に幼時の頭は強い印象を残しますから學齡前の感化に注意しませんければ、善良な効果を結ぶことは出来ませぬ、然るに學齡前の注意といへば、大方の親が誤解に陥り、唯々物さへ教

へれば事足ると思つて居るらしい。誠に歎はしいことでありませう。即ち人の知識は物を覺えることが源であるけれども、時としては人格修養上單に物を記憶することよりも之を失念することが大切の場合もあります。否々兎角人は失念の修養を缺いでをる爲め人品に缺點を生ずるのであります。譬へば、人を恨むとか、復讐することなどは、失念の修養を缺いでをりますから生ずる罪惡であります。少くとも向が謝罪すれば、許容するといふ寛大な徳風を養ふことが、人格上大切であります。然るに、多くの親は其の兒に復讐心のみを、刺戟するが常であります。先づ幼兒が過つて柱に頭を打ちましたときの如きは、我子の不注意はさて措いて罪なき柱を怨み幾度も／＼手にて柱を打つて見せ、又途傍の石に躓いて轉びます時も、其の不注意に對して省みることなく、反つて罪なき石を罰せんため、打つて見せる類は、復讐の念を養成するのみならず遂に正、不正の觀念を轉倒しこれよ

り我儘といふエスメリツクの性質を増長せしめ、甚しきに至つては偏執狂となります。抑も偏執狂と申すのは如何なる場合にも、己の行動に正しい理屈を附けて、かゝるが故に怒るのであるとか、怨むのであるとか、若しくは悲しむのであるとか感じます。それで幼時から如何なる場合でも己の過ちを棚にあげて、人のみを怨む習慣が、利己主義となります。でこれよりも己の方が實は正しいけれど、向が謝びたのであるから、之を許容するといふやうに、紳士風の態度を養成することが最も大切であります。文明國では一般に、謝するものは之を酌量しますが、野蠻人は之を容赦しません。それならば文明風の紳士淑女を作るには、如何にすればよいかと申しますと、幼兒の頃から邪念を失却させる工夫が肝要であります。そこで修養上失念の價値を認める譯であります。それであるのに、徒らに物を記憶せしむるのみを教育上大切とすることが天下の通弊でありませう。今日の

世界戦も、必竟は人類に修養の足りない結果と見ることが出來ます。要するに諦めのよい、又氣持のよい、而して衆に好かれる善良な性格を養成することが、躰方の主眼であります。

○早熟をよろこぶ誤れる教育

又諺に『子を見ること親に如かず』と申すことがあります。凡そ親は日夜子と共に生活するものであるから、其長所も知り缺點も知ることが出來るにつき、其子の早熟と晩熟とを識別する必要があります。然るに大抵の親は、子の早熟をのみよろこぶ風があるやうです、併し早熟は概ね下等動物の特徴で、晩熟は高等動物の特徴でありますから、早熟のみは自慢になりません。従つて何等の感じもない赤兒の頬を指尖で突いて、表情を無理にさせて喜んだり。歩行の出來ぬに之を強ひて脚を曲げたり。又お禮、お世辭などを無理にさせますが、これは未だ有難さの觀念が生せぬ間は、

不意味でありますまいか、それでありましたのに、不意味の動作を早熟的に教へて、躰がよいとして喜ぶ親が澤山であります。寔に幼兒の迷惑と申さねばなりません。此のやうな早熟的不自然の刺戟は、日本の習慣の缺點でありませう。或家などでは理解なき言葉を強ひて教へ込み、宅の小供は最早三箇國の言葉を話すと自慢して居ります、即ち有難うを、英語でサンキュー、獨語でダンケー、などいさせて非常に偉大い、所謂麒麟兒と迷する類であります。實に兒童自身にとつては有難迷惑な事でありませうまいか。蓋し兒童は寧ろ大器晩成と申すやうに育てることが肝要であります。何故なれば、印度の婦人に就いて見ても直に知れます。彼の國の婦人は早熟であります、決して之を歡ぶべきものと言へぬ、故に兒童は自然にのびやかに進むやうにさせるのが大切であります。知人の家庭では小學校の一學年に於て既に六學年の本をよく讀むことが出來るやうに小供を教へたも

のがあつたが、その兒は異日、漸次退歩して顔色もわるくなり時々病氣をしました。之は親としてよく致す過ちであるから深く注意せねばなりません。

○子供を弱くする誤れる教育

第三は身體の強弱に依つて種々考へなければなりません。假へば、他の強い兒と比較して我子の弱いのを心配して、俄にそれ牛乳、それ鶏卵、それソーブなどと手を盡しますが、それが反つて害をなすこともありませす。それよりも、何故に弱いのか、その因つて起る源を考へて當を得た攝生法を講ずるが大切であります。尤もこれは遺傳とか、境遇などにもよりますが、實は世話を焼きすぎた兒童を弱くする場合もあります。特に戒むべきは、その兒が成育するにつれて親の希望の通りに立派な衣類や下駄を與へ、又髪を目立つやうに結んで、人形の如にすることを親自身の慰みと心得、否其

兒を世間に引き出し、自慢の種とする者もありませす。これがために兒童は自由に遊びたくも思ふやうにならず、遂に衣類の奴隷となつて天然の發達を害する、兒童は實に迷惑千萬でありますまいか。

○子供を天然の子たらしめよ

子供は天然の子であることを第四の要件と致します。即ち小供は人間の子であると同時に天然の子であることを忘れることは出来ぬ。天然とは即ち、木火土金水であります。その幼稚な時から泥を弄ぶことが自然であります、斯くて土の中から種々な知識をうるのです。尤も土には微菌の潜む恐れがありますが、これに抵抗することが出来るやうに鍛へられることが肝要であります。次に子供は水にも縁を以てをります。従つて彼が水鐵砲などを非常によろこんで弄ぶのは當然であります。これがため親はその兒の衣類を度々更へる面倒は起るも、これは寔に結構なのであります。そ

れから尙小供は木を好みます。都の人のやうに草木と離れて生活させるのはよくありません。殊に幼稚園には樹木草花を數多植ゑておくことが必要であります。即ち之を摘んで種々な知識を得て樂しみますから自然の教養法と申してよい。狭き一室に數十人もの兒童を入れてゴロ／＼して喜んで居るのは餘り感心しません。又幼兒は火を好むものであります。茲に申す火は特に太陽のことであり、即ち日光浴をせしめるのが大切であります。一體人は太陽から色つけられるがよろしい、それが普通の健康法なのであります。それを多くの親は殊更兒童に白い粉を顔や頸につけさせて喜んでをりますが不思議ではありませんか。兎も角も幼稚園などは日光浴の必要を忘れてはなりません。昔は天地の要素を地水火風と分けました。之は大體であります、之を木火土金水としたのも要領は天然自然と離れてはならぬことを説明するのであります。尤も之を今日の化學に仍て幾十元

素とするも之等と人間は密接して居ることを世の親達に知らしむれば足るのであることをお察し願ひたい。

○性善を發輝せしめよ

尙此の他に兒童の性質を善良にすることが大切であります。即ち躰方の主眼は性善の發揮及び實現であります。故に無意義のお禮をさせるよりも兒童の天真爛漫を歡ぶ美風を作りたく祈ります。而るに此の兒は狡滑のよお菓子を前掛のポケットに入れて、三つのものを二つしかないとて今一つねだると親は其子の不正を喜んで人にも話し又自ら將來は有望と自慢する如き氣分の見えるのは、必竟するに狡滑を伶俐と考へる誤であります。この様の躰方が國民の性質をわるくするのであります。彼のワシントンが偉大であつたのは正直の爲であります。凡そ兒童は友人から嫌はれるよりも好かれる人になるを尊ばねばならぬ、即ち好かれ

るといふことが人望の源であります。この様に正直の性格は國民を善良ならしめるのみならず。やがて其の子の幸福であるから、父母は側に居て何事もよく知つて居る子に向つて、これは誰にもいふではありませんよ、など、虚言を教へてはなりません。唯何事にも公明正大の態度を以て之に教へるがよろしい。一體家庭には一の信仰がなくはなりません。グラッド將軍の偉大なのは家庭に於ける信仰の感化であります。然るに家庭に信

仰なく獨り學校で、神佛は敬はなければなりません、など、申して見たり、又親が怠りものでありながら其子に働けといふたりした位では逆も高尚な人格の子は出来ません。何れにしても家庭で眞面目の生活を致しませねば子の爲にはなりません。要するに從來の親の教育と思ふて居ることはその實非教育的のものが多く、されば、今日の家庭教育を改善することが兒童研究の急務であります。(文責在記者)

幼兒情況調查

保育上の參考として毎年新入幼兒に對して調査せる幼兒生活狀態の一部を掲げて御參考に供します。

一、往復に要する時間と其仕方

學齡に充たない幼兒を餘り遠方から幼稚園に通

東京女子高等師範學校
附屬幼稚園主事

安 井 哲

はせるといふとに就ては、考慮すべき點が少くありません。即ち之は睡眠の時間とか食事の時間とか、又は疲勞の問題等に關係を有つ者であります。當園二部に於ては、主として近所の幼兒を收容して居りますが、一部に在つては、特別に住所の區域